

たまい場つうしん 第10号

—大人も子どもも気軽に立ち寄ってお茶のみ話に花が咲く、そんな地域の公民館をめざして名づけました—

編集・発行：福生市公民館白梅分館 〒197-0003 福生市熊川 559 番地 1 電話 042 (553) 3454 Fax042 (530) 2513



しまがわ
わたしの
とっておきスポット
第1回

どうどう橋

みなさんが住んでいる熊川の、すてきな場所を紹介していくコーナーです。住んでいても、意外と知らない所があるかも？
これから色々な方に「とっておきの場所」を紹介していただく予定です。で、どうぞお楽しみに！
第1回は、白梅分館職員のお気に入りの場所を紹介させていただきます。

熊川分水の終点から福生南公園に入る通路に、どうどう橋という橋があります。福生南公園内の崖を「どうどう」と音を立てて流れ落ちる場所にある橋です。

小学生のとき仲の良かった子が、このどうどう橋の近くに住んでいました。私は熊川団地に住んでいたため、よくその子と一緒に学校（五小）から帰っていたのですが、熊川分水（千手院の前だったと思います）に葉っぱを落として、どうどう橋の所まで流れていくのを見届けるという遊びをしていました。いつ流れてくるか、わくわくしながら橋の上で待ち構えていた覚えがあります。懐かしい思い出です。

その頃は熊川分水について深く考えたことはありませんでしたが、白梅分館では「熊川分水に親しむ会」というサークルが活動していることもあり、私も以前より熊川分水に興味を持つようになりました。

（祁答院 奈緒）